

第66回議会力向上会議記録（抄）

（5. 8. 14）

一、協議事項について

正副座長より、次の事項に関し意見聴取を行い、協議の結果、下記のとおりとなった。

（別紙各資料参照）

1. クラウドシステム・チャットシステム（令和5年10月～）について

前回の会議において、各会派等に持ち帰って検討し、協議することとした、改善を希望する点など、現行システムの検証も含め、10月以降に契約予定のクラウドシステム・チャットシステムの仕様について、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等により出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	○両システムとも、現在使用しているシステムを継続することよい。
公明党 堺市議団	○両システムとも、現在使用しているシステムを継続することよい。 ○クラウドシステムについて、既に申し入れている改善要望については、速やかに対応していただきたい。また、同じファイルが二重表示される不具合を解消するとともに、データを拡大表示したまま次頁に移動できるよう改善していただきたい。
自由民主党・ 市民クラブ	○両システムとも、現在使用しているシステムを継続することよい。 ○クラウドシステムについて、既に申し入れている改善要望については、速やかに対応していただきたい。また、外部アプリで開かず印刷する場合、iOS以外の他のOSについても早急に対応していただきたい。
堺創志会	○両システムとも、現在使用しているシステムを継続することよい。 ○Google カレンダーとの連携対応について契約業者に強く申し入れている。いただきたい。
日本共産党 堺市議会議員団	○両システムとも、現在使用しているシステムを継続することよい。 ○クラウドシステムについて、既に申し入れている改善要望については、速やかに対応していただきたい。
長谷川俊英議員	○各会派の意見を伺いながら、判断したい。（水ノ上成彰議員も同意見）

【協議結果】

本件については、改善要望については従前どおり契約業者に対応を求めるとし、現契約のクラウドシステム・チャットシステムを令和6年度も引き続き使用し、今任期のチェックポイントとして、中間である令和7年度予算要求に向けて、令和6年度中にシステムの仕様等の協議・検討を行うことを合意し、8月定例会の初日議会運営委員会において、合意内容について改めて確認することとした。

2. 議案書等のペーパーレス化について

(1) クラウドシステム導入後のペーパーレス化の推進について（資料1 参照）

ペーパーレス化対応一覧（令和3年8月19日議会運営委員会で確認）の内容を更新したペーパーレス化対応一覧（更新版）【資料1】について、事務局より説明を行った。

会議運営のペーパーレス化に関連する項目は、次項「3. クラウドシステムを活用した会議運営のペーパーレス化」において、あわせて協議することとした。

【協議結果】

その他の残余の項目については、引き続き協議することとなった。

【資料1】項目11：議員提要、項目12：先例集、項目32：機構別電話帳

(2) 議案書のペーパーレス化について

前回の会議において、各会派等に持ち帰って検討し、協議することとした、議案書の完全なペーパーレス化の実施時期、議員配布分（10冊）の対応及び市立図書館・市政情報コーナーへの配架の継続について、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等から出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	<ul style="list-style-type: none">○完全なペーパーレス化を実施すべき。紙文書が必要な議員は、各自で印刷すればよい。○市立図書館・市政情報コーナーへの配架は継続すべき。○議会としてペーパーレス化を推進すると決定しながら、全く進んでいない。期限を決めて完全なペーパーレス化を実施すべき。
公明党 堺市議団	<ul style="list-style-type: none">○紙文書が必要な議員には、紙文書を配布していただきたい。○会派配布希望数：4冊○冊子では2ページの見開きであるが、データ上では頁で分割され、閲覧しづらい。目次をクリックすれば該当ページに遷移するなど、データで閲覧することを前提とした資料作成が必要である。データで閲覧しやすいよう改善すれば、ペーパーレス化は進むと考える。○ペーパーレス化の推進に向けて努力すべきであるが、議員が活動しやすいようにすることを最優先に考えながら、ペーパーレス化に取り組むべきである。○市立図書館・市政情報コーナーへの配架は継続すべき。
自由民主党・ 市民クラブ	<ul style="list-style-type: none">○紙文書が必要な議員には、紙文書を配布していただきたい。○会派配布希望数：5冊○市立図書館・市政情報コーナーへの配架は継続すべき。
堺創志会	<ul style="list-style-type: none">○よりよい議案審議のため、紙文書が必要な議員には、紙文書を配布していただきたい。○会派配布希望数：1冊○市立図書館・市政情報コーナーへの配架は継続すべき。

日本共産党 堺市議会議員団	○紙文書が必要な議員には、紙文書を配布すべき。会派としては議論がまとまっていない。 ○会派配布希望数：少なくとも1冊 ○市立図書館・市政情報コーナーへの配架は継続すべき。
長谷川俊英議員	(水ノ上成彰議員の意見も同様) ○配布希望数：会派に属さない議員に各1冊 ○市立図書館・市政情報コーナーへの配架は継続すべき。

【座長の意見】

- 議会として、ペーパーレス化を推進していくことは、既に前任期中に決定した。
- 紙文書が必要ということでは、いつまでもペーパーレス化を実現できないため、改善すればペーパーレス化を実現できるという視点で議論していきたい。
- 特に予算・決算に関する議案書は、データで閲覧することを前提とした構成となっていない。A4横向き、費目別や目次等でインデックスを付けるなどデータ上で閲覧しやすく工夫することも必要であり、改善されればペーパーレス化は進むと考える。
- 議会の本分は、議案等の審議をしっかりと行うことであり、二元代表制の一翼として役割や責務を果たすことである。その上で会議資料として議案書が必要となる。それらを踏まえ、ペーパーレス化できるものは進めていく考えである。

【協議結果】

本件については、各会派等に持ち帰り、次回の会議で協議することとなった。

なお、本件は令和6年度予算要求に関係するため、次回の会議において結論を出すことを確認した。

3. クラウドシステムを活用した会議運営のペーパーレス化について（資料1 参照）

前回の会議において、各会派等に持ち帰って検討し、協議することとした、本会議や委員会等、議会内で行う全ての会議におけるクラウドシステム・タブレット端末を活用した会議運営のペーパーレス化の導入（資料1黄色マーカー部分の項目）について、現在、試行中の方法も踏まえ、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	○会議資料については、全てペーパーレスにすればよい。 ○モニターへの会議資料の投影等は、試行方法の形態でよい。
公明党 堺市議団	○紙文書が必要な議員には、紙文書を配布していただきたい。 ○モニターへの会議資料の投影等は、試行方法の形態でよい。
自由民主党・ 市民クラブ	○紙文書が必要な議員には、紙文書を配布していただきたい。
堺創志会	○闊達な議論を行うために紙文書を必要とする議員には、紙文書を配布していただきたい。 ○会派として、会議資料は、紙文書の配布は必要ない。

日本共産党 堺市議会議員団	○紙文書が必要な議員には、紙文書を配布すべき。 ○会派として、会議資料は、紙文書の配布は必要ない。
長谷川俊英議員	○紙文書を配布していただきたい。

【座長の説明】

○会議当日に配布する会議資料等は、一旦、全てペーパーレス化するものとし、一部の資料について、紙資料を必要とする議員には、事前に申し出るなどペーパーレス化を進める運用を検討したいと考える。

○その案として、以下の案を提案する。

【座長案】

・会議資料について、次のとおりグループ（①～④）に分け、各議員へ紙資料が必要か意向を聴取する。

		一覧表の項目	内容等
①	19	大綱質疑発言通告書	
	23	質問表	各委員会・分科会質問表
②	16	議運資料	予算・決算理事会含む
	27	議会力向上会議資料	
	29	B C P会議	
③	20	本会議資料	議事日程、諸般の報告資料（理事者名簿・議決条例の報告・委員会審査結果報告等）、諸役員名簿、付託一覧表、委員会開催通知・審査順序表、予算・決算審査特別委員会討論内容
	22	委員会資料	常任：審査順序表 特別：出席理事者名簿、当局説明資料 予算・決算：分科会報告
④	8	議案書（議場配布分）	人事案件、議員提出議案、請願書

※56 初議員会を除く

【協議結果】

本件については、上記、座長案の内容について、各会派等に持ち帰り、各議員の意向を聴取し、次回の会議で引き続き協議することとなった。

なお、次回の会議に当たり、座長案の内容について、各会派等において意向を聴取し、事前に提出することとなった。

4. 【委員会】 オンライン出席事由について

前回の会議において、各会派等に持ち帰って検討し、協議することとした、総務省の通知（令和5年2月7日発出）を受けた委員会のオンライン出席事由への対応及び、その運用等について、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	○「新型コロナウイルス感染症」の文言については、様々な感染症が含まれるような総括的な文言に変更したほうがよい。 ○災害の発生や育児・介護等もオンライン出席の事由として認めるべき。
公明党 堺市議団	○災害の発生や育児・介護等もオンライン出席の事由として認めるべき。
自由民主党・ 市民クラブ	○会派として結論は出ていないが、育児・介護に対しては、最大限の配慮が必要である。 ○育児・介護等をオンライン出席の事由として認めた場合の具体的な運用等については、他自治体の先行事例を参考にしながら、議論を深める必要がある。
堺創志会	○オンライン出席を認める事由としては、「委員長が認めるとき」でよい。 ○例示として、感染症に加え、災害の発生や育児・介護等を対象として示せばよいのではないか。
日本共産党 堺市議会議員団	○災害の発生や育児・介護等もオンライン出席の事由として認めるべき。 ○育児・介護等をオンライン出席の事由として認めた場合の具体的な運用等については、引き続き議論が必要である。
長谷川俊英議員	○災害の発生や育児・介護等をオンライン出席の事由として認めることについて反対ではないが、具体的な運用等が難しいため、引き続き議論が必要である。(水ノ上成彰議員も同意見)

【協議結果】

本件については、災害の発生や育児・介護等を委員会へのオンライン出席の事由とすることについては、各会派等の意向の方向性は一致したことを確認した。

導入に当たって、具体的な運用等については、十分検討を要することから、各会派等に持ち帰り、次回の会議で引き続き協議することとした。

なお、座長より、具体的な運用等について、より詳細に議論を行うため、ワーキンググループを設置してはどうかとの提案があり、あわせて、次回の会議において協議することとした。

5. 手続きのオンライン化について（政務活動費）

前回の会議において、各会派等に持ち帰って検討し、協議することとした、

○堺市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則・運用指針で定められている各種提出書類等について、オンラインにより提出できるように規定等を改正するのか。

○オンライン提出を可能とする場合、オンライン提出の対象とする書類（挙証資料を含む。）をどうするのか。

について、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	○全ての書類について、オンライン提出の対象とすべきである。
-------------------	-------------------------------

公明党 堺市議団	○オンライン化が可能なものはオンライン提出の対象とすべきであるが、現在、紙で提出している挙証資料等については、PDF化する作業が発生し、オンライン化による事務の効率化につながらないため、引き続き検討していくべきである。
自由民主党・ 市民クラブ	○オンライン化が可能なものは、オンライン提出の対象とすべきであるが、オンライン対応ができない議員もいるため、紙での提出も認めるようにしてほしい。 ○市政報告等チラシについては、現物の提出が必要なため、オンラインの対象外とすべきである。
堺創志会	○会派としては、提出方法は現在のままでよい。ただし、オンラインにより提出できるように規定の改正は行っておくほうがよい。 ○市政報告等チラシについては、本市議会における過去からの経過を鑑み、現物の提出でなければならない。 ○領収書等添付書類の提出方法も、現在のままでよい。
日本共産党 堺市議会議員団	○オンラインによる提出は、概ね可能であると考えますが、対応できない議員も考えられ、紙での提出も認めるようにすべきである。 ○市政報告等チラシについては、現物の提出とすべきである。
長谷川俊英議員	○提出方法は現行のままでよい。

【座長の意見】

○各種提出書類等については、紙での提出に加え、オンラインの提出が可能となるよう規定等の改正は行っておくべきと考える。あわせて押印の廃止も検討しておくべきと考える。

【協議結果】

本件については、オンラインにより提出できるよう準備を進めることとし、次回の会議で引き続き協議することとなった。

6. 議員の請負状況の公表について

前回の会議において、各会派等に持ち帰って検討し、協議することとした、議員個人による請負の状況の透明性を確保するための取組として、全国市議会議長会が示す参考条例等を参考にして、議会独自の条例等を制定するのか、もしくは、その他の対応とするのか、その場合の仕組みや手法について、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	○全国市議会議長会が示す参考条例等を参考にして、議会独自の条例を制定するのか、その他の対応とするのか、会派としてはどちらの対応でもよいが、報告漏れを防ぐことが制度の趣旨と考える。
公明党 堺市議団	○全国市議会議長会が示す参考条例等を参考にして、議会独自の条例等を制定することでよい。
自由民主党・ 市民クラブ	○全国市議会議長会が示す参考条例等を参考にして、議会独自の条例等を制定することでよい。

堺 創 志 会	○堺市議会の倫理に関する条例及び同施行規則を改正し、請負に係る項目を追加するのがよい。
日 本 共 産 党 堺市議会議員団	○地方自治法の改正に問題があると考えており、堺市議会として、議員個人による堺市からの請負は受けないと申し合わせてはどうか。
長谷川俊英議員	○自治体によっては、政治倫理条例に請負に係る規定を設けているところもあり、全国市議会議長会が示す参考条例等を参考にして、議会独自の条例等を制定するのがよいか、堺市議会の倫理に関する条例及び同施行規則を改正し、請負に係る項目を追加するのがよいか、引き続き協議が必要である。

【正副座長の意見】

○地方自治法が改正・施行されていることから、議員個人の請負が発生する状況にあるため、市民にその状況を公表し透明性の確保が必要であり、かつ公正な議会運営に資するよう、すみやかに条例の制定を行ってはどうかと考える。

【協議結果】

本件については、正副座長案として、堺市議会の議員の請負に関する条例（案）（たたき台）及び同条例施行規則（案）（たたき台）が示され、同内容について、各党派等に持ち帰り、次回の会議で協議することとなった。

7. 堺市議会業務継続計画（議会BCP）及び対応マニュアルの改正について

前回の会議において、各党派等に持ち帰って検討し、協議することとした、堺市議会業務継続計画（議会BCP）及び同対応マニュアルについて、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが2類相当から5類感染症へ移行したことに伴い、

○議会BCPの対象災害は変更しないこととするのか。

○対象災害を変更しない場合は、「新型コロナウイルス感染症」の文言の扱いをどうするか。

について、各党派等の意向を聴取した。

【各党派等より出された主な意見】

大 阪 維 新 の 会 堺市議会議員団	○議会BCPの対象災害は変更しない。 ○「新型コロナウイルス感染症」の文言については、様々な感染症が含まれるような総括的な文言に変更すればよい。
公 明 党 堺 市 議 団	○議会BCPの対象災害は変更しない。 ○「新型コロナウイルス感染症」の文言については、「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、緊急事態宣言を要する感染症」に変更する。
自 由 民 主 党 ・ 市 民 ク ラ ブ	○議会BCPの対象災害は変更しない。 ○「新型コロナウイルス感染症」の文言については、「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、緊急事態宣言を要する感染症」に変更する。

堺 創 志 会	○議会BCPの災害対象は変更しない。 ○「新型コロナウイルス感染症」の文言については、「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、緊急事態宣言を要する感染症」に変更する。
日 本 共 産 党 堺市議会議員団	○議会BCPの災害対象は変更しない。 ○「新型コロナウイルス感染症」の文言については、「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、緊急事態宣言を要する感染症」に変更する。
長谷川俊英議員	○議会BCPの災害対象は変更しない。 ○「新型コロナウイルス感染症」の文言については、「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、緊急事態宣言を要する感染症」に変更する。

【協議結果】

本件については、議会BCPの対象災害は変更しないものとし、「新型コロナウイルス感染症」の文言については「新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、緊急事態宣言を要する感染症」に改めることを合意した。

なお、堺市議会業務継続計画（議会BCP）及び対応マニュアルの改正案（正副座長案）については、次回の会議において示し、その内容を確認することとした。

8. 議会報告会について

前回の会議において、各党派等に持ち帰り、引き続き協議することとしていた、今年度の開催手法、また開催時期・運営方法について、各党派等の意向を聴取した。

【各党派等より出された主な意見】

大 阪 維 新 の 会 堺市議会議員団	○議会力向上会議で議論していてもなかなか意見がまとまらないため、少人数のチームを設置し議論してはどうか。
公 明 党 堺 市 議 団	○昨年度は中学生を対象に実施し、未来を担う子どもたちを対象にしたのはよかったという声も多かったため、今年度は高校生を対象に実施してはどうか。 ○開催時期は、年明けでよい。
自 由 民 主 党 ・ 市 民 ク ラ ブ	○参加対象を小学生や子育て中の保護者、障害児を育てている保護者などに特定し、特色ある議会報告会にすればよい。 ○地域で開催する意見もあるが、参加者に本会議場にお越しいただき、雰囲気を感じてもらうことに意義がある。
堺 創 志 会	○各区での開催を検討すべき。ただし、7区で開催するに当たり、どのような問題・課題があるかわからないため、今年度は1～2区で先行的に開催してはどうか。

日本共産党 堺市議会議員団	<p>○参加対象を社会的に課題となっている分野等に従事等されている方にするのがよい（子育て中の保護者や保育現場の従事者等）。</p> <p>○各区での開催となれば、負担が大きくなる。</p>
長谷川俊英議員	<p>○今年度は、協議の時間も限られているため、従来どおりの開催手法等でよい。</p> <p>○議会報告会の本来の目的は、有権者に議会への関心を持ってもらい、様々な意見を聴取して、議会活動に反映させることであり、そのために有効な議会報告会のあり方を考えれば議員が地域に出向くことが必要と考える。</p>

【協議結果】

本件については、各会派等より出された意見を踏まえ、正副座長において、運営方法等をまとめ、令和6年1月開催とする議会報告会開催概要（案）を作成し、その内容について、次の会議で協議することとなった。

9. 本会議・委員会のインターネット中継について（資料2 参照）

前回の会議において、各会派等に持ち帰り、引き続き協議することとしていた、システムの更新に当たり、利便性や費用面を鑑み作成した正副座長案（第65回議会力向上会議資料）について、各会派等の意向を聴取した。

【各会派等より出された主な意見】

大阪維新の会 堺市議会議員団	<p>○現行でも生中継により公開されており、正副座長案のとおり、生中継については、コスト削減につながるため、YouTube で実施すればよい。</p>
公明党堺市議団	<p>○政令市でYouTube での実施事例が少ない。</p> <p>○不穏当発言や名誉毀損の発言の可能性がある中で、映像のダウンロードができない現行の方法（委託業者のシステムによる生中継配信）がよい。YouTube で実施するより費用はかかるが、人権上の対応を考慮すればやむを得ない。</p>
自由民主党・ 市民クラブ	<p>○現行の方法でも生中継で配信されており、不穏当発言等も配信される。生中継については、リスク回避として、DVR（巻き戻し再生）機能を無効にするのであれば、コスト削減にもつながり、また市民が閲覧するのも利用しやすいため、YouTube で実施すればよい。</p> <p>○生中継終了後から委託業者のシステムによる録画映像配信までの間のYouTube での映像配信については、不穏当等発言の拡散のリスクがあるため、実施するべきではない。</p>
堺創志会	<p>○会議の内容をすぐに確認できるのであれば、YouTube でも現行の方法でもどちらでもよい。</p> <p>○コストの削減に向けては、人権上のリスクにも配慮しながら、今後も不断の見直しを行っていくべき。</p>

日本共産党 堺市議会議員団	<p>○生中継については、DVR（巻き戻し再生）機能を無効にできるのであれば、YouTube で実施すればよい。</p> <p>○生中継終了後から委託業者のシステムによる録画映像配信までの間の YouTube での映像配信については、不穏当等発言の拡散を避ける観点から、実施するべきではない。</p>
長谷川俊英議員	○各会派が危惧していることを解消できる方法で実施すればよい。

【座長の意見】

- 不穏当発言や個人情報に関する発言があった際に、その発言を拡散させないためのリスクへの備えは必要である。
- 一方、生中継を YouTube で実施することにより、5年間で800万円のコスト削減につながることは魅力的である。
- 議論の論点を絞って、リスクへの備えをどうするのか、どの程度のリスクまでなら許容できるのかという観点で YouTube を利用することについて、議論いただきたい。

【協議結果】

本件については、事務局において、YouTube による生中継配信時に、DVR（巻き戻し再生）機能を無効化できるかどうかについて、技術的確認を行い、各会派等に報告することとなった。

その上で、座長において、8月22日（火）までに各会派等の意向を聴取し、判断することとなった。なお、意見がまとまらない場合は、現行どおりの内容で実施するものとすることを確認した。

10. 第67回議会力向上会議の開催日時について

本件については、令和5年9月29日（金）午前10時から開催することとした。